

# 日本におけるスマート農業の実態に関する研究

## —青森県中南地域の事例から—

氏名 柳沼 利旺

### 要旨本文

本論文では、国や地方、海外でのスマート農業の事例を取りあげ実態を明らかにし、その過程で発見した課題について解決策を考察していき、スマート農業によって衰退している日本農業を復活させることができるのか見ていく。

スマート農業が必ずしも課題解決をできるわけではないが、近年、政府による推進に先んじて、スマート農業技術の開発が活性化しており、農機メーカーはもとより食料品メーカー、ベンチャー企業の参入によりテクノロジーにおける発展はしており、日本農業における課題を解決することに期待できる。

日本においては、規制の緩和や農地の拡大といったことをしていくことで、スマート農業の導入がより推進されていくと考える。そして、農業従事者はデータの重要性に気づき使用していくことが農業衰退を抑制していくことに繋がっていく。

**Key Word**：スマート農業、労働力不足、規制緩和、農地拡大